

福島イノベーション・コースト構想 イノベ地域来訪者受入体制構築事業

「地域魅力開発の担い手創出事業」公募型プロポーザル質問書に対する回答書

令和8年4月24日

No.	質問事項 (募集要領)	質問内容	回答
1	募集要領 「1 目的」 (参加者について)	県内・県外双方から学生や社会人を呼び込む事業を想定しているが、貴構にて本事業採択にあたり期待されている最低の参加人数や、県内・県外の参加者比率のイメージはあるか。	本事業の趣旨にそってイノベ地域外より来訪者を呼び込む取組であれば、参加人数の最低数や県内外の参加者内訳に特段の定めは設けていません。
2	募集要領 「1 目的」 (イノベ地域で活動する企業・団体等との協働について)	現状、事業の質向上のため複数の法人・団体が共催する形での事業を想定しているが、団体数の上限や費用按分の割合の上限などの規定はあるか。	事業を実施する上での連携企業・団体数および費用按分の割合の上限は特にありません。
3	募集要領 「1 目的」 「5 選定方針」 (「担い手」の定義について)	※個別の提案内容を含む部分は掲載を控えています 事業の運営側に「担い手」として位置付けることを想定している。このような設計は、「地域魅力開発の担い手創出」という本事業の趣旨に合致すると判断してよいか。	募集要領「1 目的」および「5 選定方針」の内容に沿うかご確認ください。記載内容から「5 選定方針(2)エ(予算の組み換えに過ぎない既存事業)」と受け止めようと考えています。
4	募集要領 「1 目的」 「5 選定方針」 (事業の対象範囲および目的の適合性について)	※個別の提案内容を含む部分は掲載を控えています 複合イベントを、イノベ地域における新たな「来訪コンテンツ創出事業」として提案することは、本事業の趣旨に照らして適切か。また、適合させるためには、どのような計画を企画すればよいか。	募集要領「1 目的」および「5 選定方針」の内容に沿うかご確認ください。記載内容から「5 選定方針(2)エ(予算の組み換えに過ぎない既存事業)」と受け止めようと考えています。

5	<p>募集要領 「1 目的」 「5.選定方針」 (持続的なモデル形成の評価について)</p>	<p>※個別の提案内容を含む部分は掲載を控えています 将来的に相双地域において継続的なネットワーク形成やイベント展開を図る構想である。このような複数年を見据えた自立的なモデルづくりの方針は、審査における評価対象となるか。</p>	<p>募集要領「1 目的」および「5 選定方針」の内容に沿うかご確認ください。記載内容から「5 選定方針(2)エ(予算の組み換えに過ぎない既存事業)」と受け止めようと考えています。</p>
6	<p>募集要領 「1 目的」 「2 事業の概要」 「5 選定方針」 (教育機関との連携および学生ボランティアに係る経費について)</p>	<p>※個別の提案内容を含む部分は掲載を控えています 生徒を、当日ボランティアスタッフ(人材育成の一環)として受け入れる連携を予定している。 ① 教育機関との連携による人材育成の取組は、評価の対象となるか。 ② また、参加する生徒の実費を、本事業の経費として計上することは可能か。</p>	<p>募集要領「1 目的」および「5 選定方針」の内容に沿うかご確認ください。なお、費用計上可否については、審査後、選定された場合の当機構との協議事項となります。</p>
7	<p>募集要領 「2 事業の概要」 (事業費用について)</p>	<p>費用のうち、企画費や人件費等にかかる割合の上限などはあるか。</p>	<p>事業の内訳費用に関する割合については、特段の定めは設けていませんが、事業遂行に必要な範囲であるかは審査します。具体的には選定された場合の当機構との協議事項となります。</p>
8	<p>募集要領 「2 事業の概要」 (音楽プログラムに係る経費について)</p>	<p>※個別の提案内容を含む部分は掲載を控えています このライブに要する出演料(謝金)および機材・オペレーター費用等を、本事業の委託費として計上することは可能か。</p>	<p>審査後、選定された場合の当機構との協議事項となります。</p>
9	<p>募集要領 「2 事業の概要」 (企業連携およびワークショップ経費について)</p>	<p>※個別の提案内容を含む部分は掲載を控えています ワークショップを実施する予定である。この場合の謝金、監修料、およびワークショップで使用する教材・材料費等を、本事業の経費として計上することは可能か。</p>	<p>審査後、選定された場合の当機構との協議事項となります。</p>

10	<p>募集要項 「4 参加資格等」 (福島県外の企業の参加について)</p>	<p>拠点が福島県内にないが、連携・提携している団体や個人が福島県内にいる場合は、参加資格として認められるか。</p>	<p>拠点が福島県内にない場合は、イノベ地域内に拠点等を有する者との連携（イノベ地域内の連携企業・団体等の事務所等を活動拠点として活用）により参加資格等を満たすと考えています。連携を通じてどのように事業を行うかは審査します。</p>
11	<p>募集要項 「5 選定方針」 (1) イについて</p>	<p>「海外の大学生等の外国人」（特にスタートアップ等を志す層）とあるが、国内の同様の学生等の方が移住や交流人口となる可能性が高いと思われる。今回のこの項目設定の意図や背景、期待する効果はどのようなものがあるか</p>	<p>イノベ地域の魅力開発につながる担い手たりえる方は国の内外を問わないことから、地域の課題を解決する視点をお持ちの方にイノベ地域をご理解いただき、より幅広くイノベ地域に来訪いただくべく項目を設定し選定件数を考慮しました。国内の学生等の方を除く意図はまったくありません。</p>
12	<p>募集要領 「12 選定方針」 (プロポーザル審査について)</p>	<p>5月22日に予定されている審査会について、オンラインで参加することは可能か。</p>	<p>過去当機構での採択等実績がない方については、原則プロポーザル審査場所での対面によるプレゼンテーションとします。やむを得ず上記がかなわない場合は、審査の案内がある際に、個別に事務局とご相談ください。なお、オンラインでの参加となる場合でも、提出期限内に持参または郵送された企画提案書等にのみ審査し、それ以外の方法は提案書等の無効となります。</p>
13	<p>募集要領 「12 選定方針」 (プロポーザル審査について)</p>	<p>場所について、現地参加必須となるか。</p>	<p>過去当機構での採択等実績がない方については、原則プロポーザル審査場所での対面によるプレゼンテーションとします。やむを得ず上記がかなわない場合は、審査の案内がある際に、個別に事務局とご相談ください。なお、オンラインでの参加となる場合でも、提出期限内に持参または郵送された企画提案書等にのみ審査し、それ以外の方法は提案書等の無効となります。</p>